

編集から

★新潟湯巻巻町住人は”原発ノー”を選択した。また来月には沖縄の反基地の歴史的住民投票が行なわれる。いよいよ直接民主主義の世の中のはじまりだ。これらの知事や町長は住民の意を尊重すると明言し、住民の力強い代表として信頼を得ている。私たちも昨年の条例請求につづけて今後も市民の本来の利益をはつきりと声にしてゆこう。そして市長や議員さんに本来の使命を思い出していただこう。守護神オオタカがお山の上から見守っている。(H)

★七月、八月と山歩きのポスターを市内のあちらこちらの電柱に、皆で分け貼りました。埼玉県の広告条例に従って合法的に貼っているのですが中央通りや駅前通りでは、半分以上がはがされてしまいました。終了後はきちんと自分達ではがして歩いているのですから勝手に早々とはがさないで欲しいナ。(S)

ひりひりの声が力になります。



開発計画の変更を是非訴えて下さい！

- ◆飯能市役所 (小山誠二)
 - ☎357 飯能市双柳1-1
 - ☎代表 73・2111
- ◆埼玉県庁 (土屋義彦)
 - ☎336 浦和市中高砂3-1-51
 - ☎代表 048・824・2111
- ◆業者 西武鉄道株式会社 (杉藤)
 - ☎359 所沢市くすのき台
 - 1-11-1
- ◆環境庁 (岩垂孝喜男)
 - ☎代表 0429・26・2136
 - ☎100 千代田区霞が関
 - 1-1-1
- ☎代表 03・3581・3351

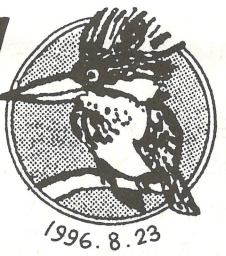
会員募集中!!

天覧山・多峯主山周辺の自然を守りたいという目的に賛同して下さる方はどなたでも会員になれます。会の活動は……。

- 月一回の例会(飯能動物園) ●月一回の山歩き ●会報「やませみ」の発行
- 会費
 - ①維持会員
 - 一般会員・年会費 千円
 - ファミリー会員・年会費 二千円
 - ②協力会員・会費はありません。イベント等ご協力下さい。
- 会員の申込み用紙、会報「やませみ」、市長へのお手紙の用紙などは、事務局や左記の住所の所に置いてあります。
- ★谷口眼科 ★銀河堂
- 会費・カンパ等の振込先
 - ◆郵便振込口座
 - (名称) 天覧山・多峯主山の自然を守る会
 - (番号) 00580・9・16342



天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報



1996. 8. 23

やませみ

No. 7



虫の声、涼しい風がうれしい季節。そしてうれしいお知らせもできました。環境庁がオオタカなどの保護のカイトラインを発表！天覧山・多峯主山に力強い決定となりそうです。

山からの便りではじまる見聞キホージ。初秋の香りをお楽しみください。自然ばかりではありません。飯能のいいところの営み(園地)も角虫水でみました。中段では、一本の映像Filmのように美しく描かれた天覧山・多峯主山の未来像をぜひ読みください。いつものように、ふるさと散歩の感想と予告もあつま。あなたも歩いてみたくなります!! そんな やませみ 7号です。

環境庁、オオタカなど 猛禽類保護の ガイドラインを発表

八月九日、環境庁は、イヌワシ、クマタカ、オオタカなど、絶滅が心配されている猛禽類の具体的保護策などを盛り込んだガイドラインを発表！

平成四年に制定された「種の保存法」の中でもオオタカの保護が謳われ、捕獲などが禁じられていたが、更に今回のガイドラインは六十ページにもわたり、営巣や生息の調査方法や森林環境の保全などについて、鳥種ごとに指示する画期的内容となっています。

(たとえば営巣確認については、一営巣期から次の営巣期まで十五カ月以上かける、など。)

オオタカについては「営巣中心域での住宅・工場・鉄塔など建造物や、リゾート施設・道路・森林開発は避ける。」と明記されています。このガイドラインには法的な強制力はありませんが、西武鉄道の開発に対する県知事の許可はまだ下りていないのですから、環境アセスメントの手続きなどにおける行政指導に生かされてくることは確実です。もしこのガイドラインを全く無視した開発の許可や開発が行なわれたら、全国的にオオタカなどの保護が注目される今、行政も企業も社会的非難の的となることでしょう。

開発計画の変更は一段と現実的なものとなってきました。私たち飯能市民



は今こそ、市や県や西武鉄道に対してオオタカの棲む天覧山・多峯主山の開発計画の見直しを求めてゆきましょう。市民一人一人の小さな声や行動の積み重ねが大きな力を動かすのですから。



守る会では五月末に土屋知事に質問状を提出し、六月中頃、評価できる内容の回答をいただいたことは、やませみ六号でお知らせしました。その回答の内容を、どんな方法で実現できるのか、具体的な提案や要望をまとめ、近日に県に提出すべく、現在準備中です。

そして回答の一つにある、県を調整役とした「市民と業者と市との協議」を実現するよう、西武鉄道に働きかけました。その結果、八月二日、西武と守る会の双方三人ずつによる第一回の打ち合わせが開かれました。今回は初回ということで、お互いの考えを述べあい、その違いを再確認した感がありました。回を重ねることで信頼関係を築き、生産的な話し合いにしてゆければと考えています。

イヌワシなどの営巣地 立ち入り禁止に

イヌワシ、クマタカ、オオタカなど猛禽類保護のため、環境庁は九日、具体的な保護方針などを示したガイドラインを作り公表した。環境アセスメントの際、都道府県の行政指導の参考となる。新潟・福島県境の奥只見地域のダム発電所工事など、猛禽類の保護と開発が対立するケースが増えているが、ガイドラ

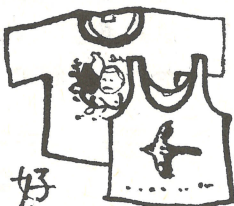


インは営巣中心域では人の出入りや道路建設など開発行為を厳しく戒めており、行政指導の強力な後ろ盾となりそうだ。同庁のレッドデータブックではイヌワシ、クマタカが絶滅危種、オオタカは危急種に指定されている。保護方針はこれらの猛禽類の種別に示した。全国で三百程度と推測

市道181号線を 知っていますか？



西武鉄道が天覧山・多峯主山周辺に計画している武蔵丘分譲地。「西武の土地に西武が団地を造るのだから仕方がない」とあきらめてはいませんか？ところが、全長二キロあまりの市道一八一号線の約五百メートルが、開発予定地を横切って通っているのです。この市道を廃道にしない限り、開発計画を今のまま進めることは出来ません。多くの市民の声に耳を傾け、ハイキング道路として長く親しまれてきた市道一八一号線を保全してゆくの、市長と市議会議員ひとりひとりの姿勢が問われている大問題です。市道一八一号線の保全をつよく求めてゆきましょう。



守る会のオリジナルTシャツ
好評発売中

『守る会(略)』では、オリジナルTシャツを販売しています。オオタカや山に棲む動物のイラストがシンプルに描かれています。これを着て山を歩けばアピールにもなる、一石二鳥Tシャツ。壹番市でも販売しています。(一枚二〇〇〇円)

道路建設なども対象に

環境庁が作成

されているイヌワシは、営巣期の十一月―四月ごろは「営巣中心域の生態調査を含め人の出入りを原則中止すべきだ」と規定。さらに「環境の改変は避け、林業一繁殖期間中は騒音を伴う簡易作業も控えるべき」と求めた。都市部近々でも見られるガイドライン自体に強制力はないが、同庁はこれに基づいた行政指導や手続きで、工事など開発行為の中止や場所の変更がなされる」と言っている。日本自然保護協会の横山隆一保護部長は「行政を含め関係者が開発の都合に合わせて調査をまとめる可能性もある。調査の妥当性をチェックするシステムが必要だ」としている。